

## 令和4年度 高等学校 Python プログラミング研修 実施要項

1 目的 情報技術を活用しながら問題の発見・解決に向け探究するという学習過程の在り方やプログラミングの授業で扱う具体例、教材・教具等について実践的・体験的に学び、各教科等の学習の基盤となる「情報活用能力」の育成に関する指導力の向上を図る。

2 対象 府立高等学校（岸和田市立産業高等学校の定時制の課程を含む）、府立支援学校の教員

募集定員 設定なし

## 3 内容等

回	日時			内容	講師等
	1 班	2 班	3 班		
1	リアルタイム開催 15:00~17:00			ブログサイトの制作	ライフイズテック株式会社 大阪府教育センター 指導主事等
	4月18日 (月)	4月21日 (木)	4月26日 (火)		
	提出締切：5月17日(火)				
2	リアルタイム開催 15:00~17:00			画像認識 AI・顔認識 AI の活用	ライフイズテック株式会社 大阪府教育センター 指導主事等
	4月19日 (火)	4月22日 (金)	4月27日 (水)		
	提出締切：5月17日(火)				

※太字の時間帯は、通常時間帯と異なるので注意してください。

4 会場 第1、2回 所属校等

5 担当室 高等学校教育推進室

6 その他 (1) 受付は30分前から。  
 (2) 決定通知、及び当日参加に必要なミーティングID等については、申込みのあったメールアドレス宛に、ライフイズテック株式会社より案内します。  
 (3) 事前に準備しておく事項等については、ライフイズテック株式会社からのメールを確認してください。  
 (4) Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

個別募集

## 令和4年度 高等学校 Python プログラミング研修 シラバス

## 1 目的

情報技術を活用しながら問題の発見・解決に向け探究するという学習過程の在り方やプログラミングの授業で扱う具体例、教材・教具等について実践的・体験的に学び、各教科等の学習の基盤となる「情報活用能力」の育成に関する指導力の向上を図る。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期			○							○	○	○			
第2期			○							○	○	○			
第1期			○							○	○	○			
第0期															

## 3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	ブログサイトの制作	Python を用いたブログの制作を通して、プログラミングの基礎文法やアルゴリズムについての指導方法を習得する。	HTML/CSS を用いてブログサイトを制作し、Python を用いて入力に応じてデータを取得・表示させる仕組みを構築する。	<b>準備物</b> 研修に必要な準備物等について、4月上旬にライフイズテック株式会社から、登録したメールアドレス宛て連絡が届くので確認しておくこと。
2	画像認識 AI・顔認識 AI の活用	Python を用いた AI アプリの制作を通して、プログラミングの基礎文法やアルゴリズムについての指導方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像認識 AI を活用することで、商品を識別し価格判定する「自動会計 AI レジ」を製作する。</li> <li>顔認識 AI を活用し、スマートフォンのカメラで表情を判定する Web アプリを製作する。</li> </ul>	